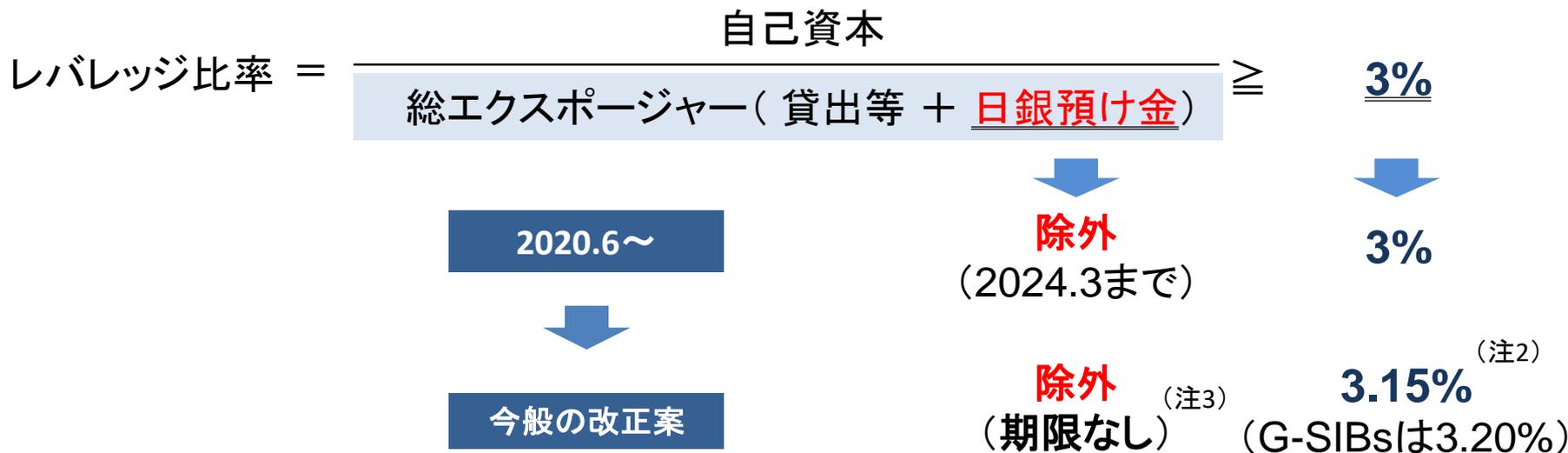


# レバレッジ比率規制の見直し：日銀預け金除外措置

- コロナ対応として、金融機関の貸出余力を確保するため、レバレッジ比率の算定において日銀預け金を総エクスポージャー（分母）から時限的に除外。当該時限措置を、2022年3月末から2年間延長。<sup>(注1)</sup>

(注1) 国際統一基準行が対象。3月25日公表済み。

- コロナ後を見据えた枠組みとして、2024年4月以降も引き続き日銀預け金を総エクスポージャーから除外しつつ、最低限の所要水準を調整する改正案を公表。



(注2) 英国では、所要水準を3.25%としている(2022年7月現在)。

(注3) 例外的なマクロ経済環境その他の事情を勘案して必要があると認められるとき。